

第4回日本移民学会冬季研究大会

【日時】2019年12月7日(土) 14:00~17:40

【会場】名古屋大学東山キャンパス 国際開発研究科棟 [キャンパスマップ](#)

(名古屋市千種区不老町 地下鉄名城線名古屋大学駅1番出口) [アクセスマップ](#)

【参加費】会員無料、非会員500円

A会場(6階第1講義室607) 司会：日比嘉高、木下昭

- 14:00~14:40 名村 優子(立教大学・院)
「戦前ブラジルにおける日本人「植民」事業の一側面
アリアンサ移住地における土地取得の実態」
- 14:45~15:25 浅香 幸枝(南山大学)
「人の移動における社会関係資本としての大学の役割
—スペイン語圏の国々と日本の事例から」
- 15:30~16:10 李 定恩(立命館大学・院)
「韓国人移住起業家たちはどのようにフィリピンを英語留学先にしたのか
—英語学校のトランスナショナルなネットワークと実践について」
- 16:15~16:55 ハン ユジン(早稲田大学・院)
「日朝関係が在日脱北者の日本定住に満たす影響とその問題」
- 17:00~17:40 キム ソニア(京都大学・院)
「在日コリアン母国修学生生活史—共同体と移動による記憶から」

B会場(6階第2講義室608) 司会：佃陽子、吉見かおる

- 14:00~14:40 Katikar Tipayalai (Nagoya University・院)
“How Migrant Workers Benefit Economic Growth in Thailand? An Assessment of the Economic Impacts of Immigration Using Structural Equation Modeling”
- 14:45~15:25 Nour Hassan (Nagoya University・院)
“The Role of Immigration in the Suitability of the ROSCAs as a Sustainable CBSPN”
- 15:30~16:10 岡本直美(同志社大学・院)
「人びとの移動経験と沖縄の土地接収—「伊江島土地闘争」の再検討」
- 16:15~16:55 大熊 智之(北九州工業高等専門学校)
「明治期キリスト者による渡米奨励論と対外認識—島貫兵太夫の朝鮮観と欧米観」

主催：日本移民学会

共催：名古屋大学 大学院国際開発研究科

問い合わせ：jamswinter2019@gmail.com

